

評価結果を受けての今後の再開発事業に対する区の対応 (同種事業の計画へのフィードバック)

○周辺街区と連携した歩行者ネットワーク **推進すべき事項**

日比谷線虎ノ門ヒルズ駅の整備と併せ、本事業では都心や空港を結ぶバスターミナルの整備、周辺街区を結ぶ歩行者デッキ、銀座線虎ノ門駅と日比谷線虎ノ門ヒルズ駅を結ぶ地下歩行者通路を整備したほか、地上の歩行者動線では高木の植栽等を配置するなど、安全で快適な回遊性の高い歩行者ネットワークが形成されました。

一方で、歩行者ネットワークの利便性、貢献度について高い評価を得ていますが、地上レベルの歩行者動線では車の出入りの多さに対する意見、歩行者デッキでは日差しや雨風の吹き込みに対する意見があり、より快適性に配慮した歩行者ネットワークが求められていることが確認できました。

今後も訪れる方が利用しやすい歩行者ネットワークの確保を推進するため、地上・地下・デッキレベル等を一体的に考慮し、快適性に配慮した歩行者ネットワークの設計の検討を再開発組合に指導・誘導していきます。

○イノベーション支援施設の導入について **推進すべき事項**

国内外の企業や人々の交流、新たなビジネスの創出・企業の集積を推進し、国際的なビジネス・交流拠点の形成が求められていました。

本事業では国際ビジネス拠点の実現に向けて、大企業の事業改革や新規事業創出をミッションとする組織に特化して構想されたインキュベーション型シェアオフィスの ARCH が整備されました。また、国際的なスタートアップ集積拠点である CIC についても導入され、イノベーション・コミュニティの創出に寄与しています。

ARCH については地区内の6割以上の方から認知しており、設置したことについても評価されていましたが、地区外の約8割の方は認知していなかったことが確認できました。

今後も再開発事業で整備した施設の存在やまち全体のにぎわい創出のために行われている活動について、広く周知するよう再開発組合に指導・誘導していきます。

○エリアマネジメント活動について **改善すべき事項**

虎ノ門エリアでは、にぎわいのある空間、人々が豊かに交流できる空間の誘導による魅力と活力のある街並みを形成することが求められていました。

虎ノ門エリア全体においてはワークショップ等のエリアマネジメント活動は行っているものの、当地区では地域活性化の取組として地域清掃活動に参加していますが、当地区で行っているエリアマネジメント活動は少なく、にぎわい形成に課題があります。

エリアマネジメント活動については、周辺街区と連携しながら空地等を活用し、人々が豊かに交流できる空間となるよう再開発組合を指導していきます。